コチノ イドが奪う

日本人と魚の未来」講演会開催

オニコチノイド系農薬 因の一つとされる、ネ 川魚などが減少した原 道内をはじめ全国で 新ビル1階「DO-B 加し札幌市中央区の道 日、市民ら約50人が参 本人と魚の未来」が13 が、日釣振のネオニコ 告。全国の河川の水質 問題に対する活動を報

に関する講演会「ネオ

OX EAST」で開催

ニコチノイドが奪う日 された。 いどうを発行す

(日釣振)と週刊 日本釣振興会 公益財団法人

述べた。 庁へ要望していく」と

釣り新聞ほっか 題を研究する東京の その後、ネオニコ問

る北海道新聞H o t Me dia 虫防除のため全 講演。長年にわたり害

公益財団法人

の共催。

地区支部の佐藤 日釣振北海道 され続けた結果、 コ系農薬が使用

野良彦常任理事 日釣振本部の牧 正基支部長のあ いさつに続き、 チといった節 トンボやミツバ

> があることも科学的 は、呼吸器や中枢神経 といった人体への影響 た事例を報告。さらに

する魚類が減少してき

児の神経発達に悪影響 データを基に示し、「小

一今後もネオニコ系農 調査結果などを紹介し、 薬の使用中止を関係省 を減らすしかない」と ある。国内での使用量 を与えている可能性も

掲載予定。 14日発売1406号に 講演会の詳細は8月

訴えた。

(本紙·梅津 佳

医師、平久美子さんが

国各地でネオニ

足動物が死滅し、 活動報告をする牧野良彦・日釣振本

について解説する平久美子さんネオニコチノイド系農薬の危険性

それらをエサと 部常任理事